

〈9月1日は防災の日〉

急な停電でも慌てない！台風シーズンにも備えて安心！ 停電しても消えない電球「tsuita（つuita）」を 東日印刷「楽天市場 T-BOX」で販売

東日印刷株式会社（本社：東京都江東区、社長：武田芳明、以下 TONICHI）のネット通販サイト「楽天市場 T-BOX」(<https://www.rakuten.ne.jp/gold/tbox>)は、「防災の日」特集ページを開設し、新たに停電しても消えない電球「tsuita（つuita）」の販売を開始しました。

9月1日は防災の日です。防災の日は、関東大震災が発生した日であるとともに台風シーズンを迎える時期とも重なり、地震や風水害等の心構えを準備しようという目的で設立されたものです。民間の調査会社が行った防災意識と行動のアンケート調査によると、大規模災害の被災経験がある219人に「被災時に困ったこと」について聞いたところ、1位「電気、ガスが使えない（照明や家電、スマートフォンが利用できない）」(56.2%)、2位「情報が届かない（テレビ、ラジオによる）」(29.2%)、3位「食料品が足りない」(24.2%)と、半数以上が電気・ガスが使えないことが不安だったという回答でした。



あっ、停電だ！
何も見えない・・・！！
でも大丈夫！！

販売ページ

いつでもランプ
tsuita
特許出願中

- 商品名：いつでもランプ「tsuita」
- 価格：3135円（+送料495円）
*2個以上お求めの場合には送料が無料になります。
- カラー：電球色 または 昼白色
- サイズ：直径60×117mm
- 消費電力：6W
- 通常時の明るさ：AC660lm
- 停電時の明るさ：DC200lm
- 停電時の点灯時間：6時間
- バッテリー：2600mAh
- LED：40000H

今回、T-BOXで販売する停電しても消えない電球「tsuita（つuita）」は、平常時は屋内の照明器具として使い、停電やブレーカーが落ちた時には内蔵バッテリーに切り替わり自動点灯します（50w相当タイプは、停電後6時間ほど持続〈停電時は最大200lm〉）。また、ソケットから外し、専用アタッチメントを付けるか、上の写真のように持てば、懐中電灯のように使うこともできます。電力復旧後は勝手に充電を開始するため特別な手間もかかりません。「tsuita」は、災害時だけでなく普段から使えて、賢く備えられる商品です。いつ起こるかわからない地震や災害のために。9月1日の防災の日を前に、突然やってくる停電に少しでも安心と安全を備えておきませんか。



写真左が通常時、右が停電時
通常時と比較をすると1/3程度の明るさですが、いつもと変わらない空間で安全に過ごすことができます。

電気の色は2色
お部屋の雰囲気に合わせて電球色（写真左）と昼白色（写真右）の2種類から選べます。

ウソみたいなホントの話。
マンションの1室にぽつんとひとつの灯り
突然起こった停電で【tsuita】の効果を実証

下の写真をご覧ください。

右角の一室だけ明かりが灯っています。廃墟の一室だけを明るくしているわけではありません。
なぜなら、マンションの周辺も真っ暗、信号も機能していません。一体、何が起ったのでしょうか……。



これは、2022年3月に東京圏で起きた大規模停電時の実際の様子です。実は、この一室には「停電しても消えない電球【tsuita】が設置してありました。

突然起きた停電。そのお部屋は【tsuita】のおかげで、真っ暗闇を免れました。この部屋、実は【tsuita】を製造・販売する日本災害スキーム株式会社の佐藤 央社長のお宅でした。佐藤社長のご自宅は【tsuita】が設置されており、そのおかげでお部屋は明るいままでした。でも、「もしや!？」と思って外に出てみたら、見事に自分たちお部屋だけに明かりが灯っていて、他はもう真っ暗!

災害時はただでさえ心細くなります。でも、そこに明かりだけでも灯っていたら……。突然の停電で実証された、備えて安心【tsuita】エピソードでした。

【tsuita】備えて安心。ここがポイント!

- ① 大容量バッテリー（50w相当タイプは、停電後6時間ほど持続）
- ② 停電やブレーカーが落ちた時にも内蔵バッテリーで自動灯火
- ③ 付属の専用器具、または手で持つだけで懐中電灯代わりにも
- ④ LED電球なので、省電力・長持ちで経済的
- ⑤ 明るいから携帯や非常袋を探して落ち着いて避難ができる



〈本件に関するお問合せ〉

東日印刷株式会社 プロモーション本部

<https://tonichi-printing.co.jp/inquiry.html>

*東日印刷 お問い合わせ で検索ください